

---

---

## 編 集 後 記

ランの特集はいかがだったでしょうか。改めてまとめてみると道内には100を超える種類が見られることがわかりました。今回は新たに2品種を追加するなど本会会員の実力が示されました。北海道産のこれだけのランを一覧できるのはここだけでしょう。

前回のラン特集で五十嵐さんがまとめた目録にあったもので、今回は確認できませんでしたが、フナシトケンラン、ヒメウズラヒトハラン、シロバナサワラン、シロバナテガタチドリ、シロバナヤマトキソウ、アオモジズリは見つかるかもしれません。本文で取り上げたオンタケユウシュンランもいずれは見つかると思います。そもそも母種が希少なシロバナキバナノアツモリソウは見つかる可能性は低いでしょう。そのほかにも分類、分布上あいまいなものが依然としていくつかあるようです。

今回、実は原稿の集まりはよくありませんでした。しかし最終的には300点近い写真と50ページを超える特集記事が集まりました。内容も分類から栽培まで広く取り上げることができました。また、元会員や会員の紹介による協力もあり、充実した特集になりました。

余談ですが、集まった写真を選んでいると、皆さん実に様々なものを見ていることがわかります。また、紹介できませんが、こんなところにもあるのかというランもありました。探せば出てくるものです。

次号は熱心なファンの多い湿原・湿地の植物がテーマです。様々な湿地が紹介されることと期待しています。また、地域特集の続編として道北も予定に入っています。こちらも準備をよろしくお願いします。

(編集委員 新田 紀敏)

- 会員を常時募集しています。  
2ページの会則をご理解の上、6条によりお申し込みください。
- 会誌バックナンバーのお知らせ。  
1～6、9、23、24、26、30号は絶版ですが、それ以外の号はバックナンバーがあります。8、22は在庫僅少です。内容は下記ホームページでご確認ください。いずれも事務局で対応していますのでご連絡ください。
- 本誌の記事はインターネット上でも公開する場合があります。著者はあらかじめご了解ください。本会のホームページは次のURLからどうぞ。

( <http://hopposansokai.web.fc2.com/index.html> )